

広報

ふじかわ



3月号

●平成2年3月5日発行 No.344

町のメモ

平成2年3月1日現在	
人口	17,506人
増減	+45人
男	8,629人
女	8,877人
世帯数	4,669世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121



早く、ランドセルで
小学校に行きたいな
(新一年生一目入学)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

野田山健康緑地公園



自然の中で食べるおべんとうは最高です (大師広場)

さあ、いよいよ本格的な春です。あたたかい陽気に誘われて、野田山健康緑地公園へハイキングコースを利用して、出かけてみませんか。
今月号ではログハウスが完成する野田山健康緑地公園を紹介します。

キャンプもできる公園

かれんな野草の花との出合
いやアスレチック、バーベキューも楽しめます。

私たちにとって、日常生活における自然とのふれあいは欠かすことのできないものです。野田山健康緑地公園は、豊富な緑を持つ山間地を生かし、自然と親しめるやすらぎの場として、昭和五十七年から緑地公園整備事業が始まり、昭和六十一年に新しい緑地公園として誕生しました。
野田山は、標高が四百七十メートルで、古くから信仰の山として開かれ、大蛇や火の玉の伝

説もあります。この野田山へ登る道はハイキングコースとして親しまれ、春や秋のシーズンには家族で楽しそうに歩いている姿がみられます。

この緑地公園は、大師広場・金丸山広場・万葉広場・展望台広場の名称で、目的別に四つの広場に分かれ、百二haの広さがあります。大師広場の池にはモリアオガエルが生息し、五月頃になると池の回りの木には、白い泡状の卵塊が

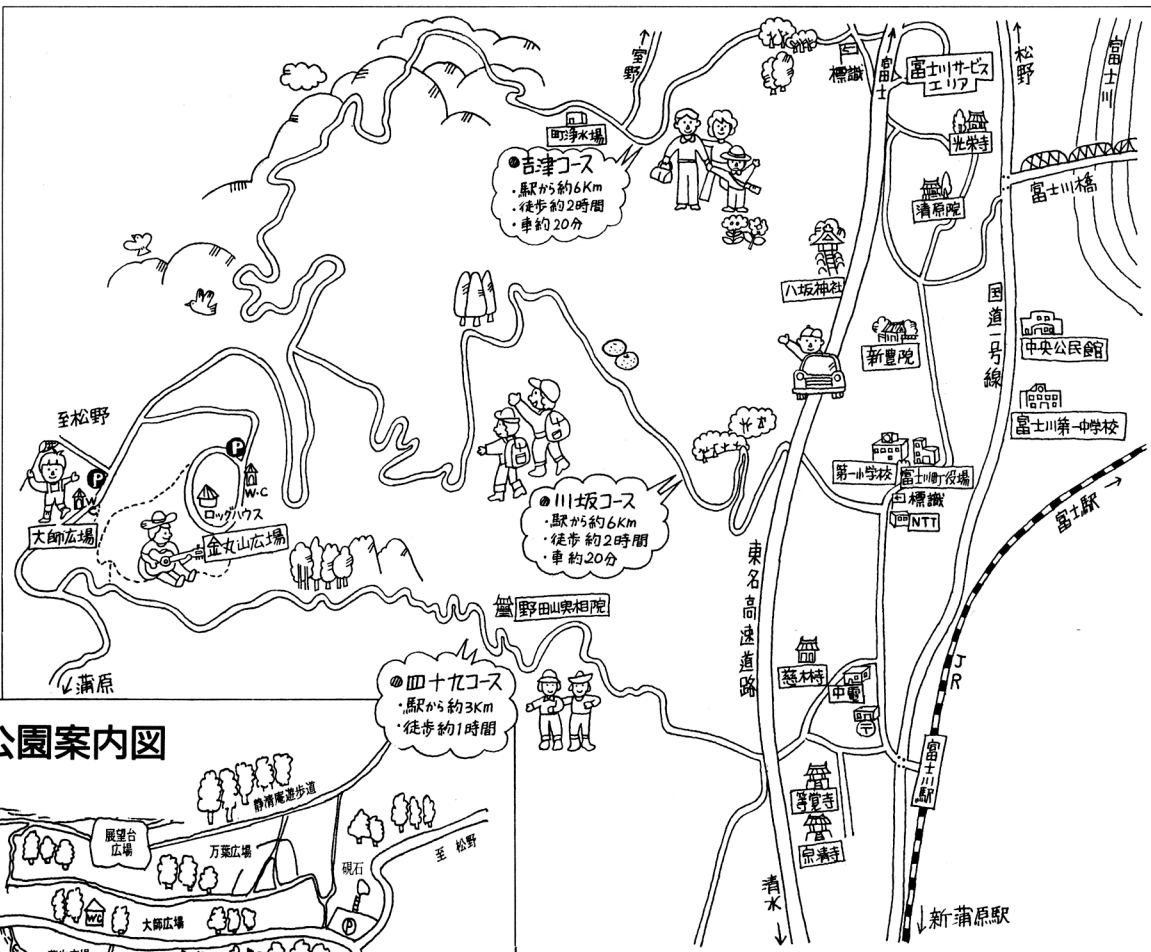
たくさん見られます。子どもたちには丸太を利用したアスレチックが人気があり、色々な遊具で楽しそうに体を動かしています。
金丸山広場には、キャンプやバーベキューを楽しむ施設があり、眼下には駿河湾から富士山までの大パノラマが広がり、訪れた人の目を楽しませてくれます。この広場が開園してから毎年、二千人を超える人が利用しています。三月末にはログハウスも完成する予定で、これからも、利用する人が使いやすい広場を考えていきます。
みなさん、野田山健康緑地公園で暖い春を満喫してはいかがでしょうか。

金丸山広場にログハウス

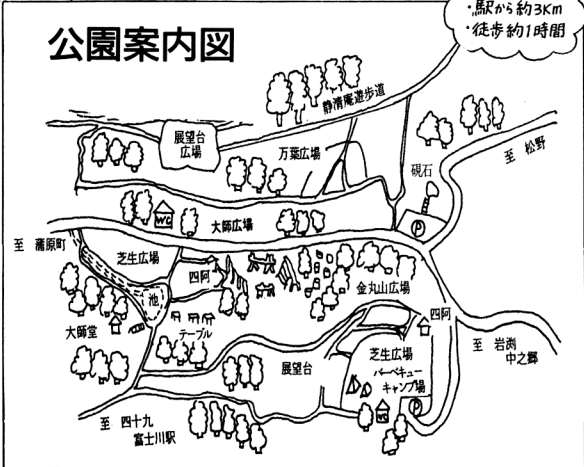
利用する人が使いやすい施設を……

これまで、金丸山広場でバーベキューやキャンプを楽しんでいても、日除けや雨除けの施設がなかったため、突然雨が降ってきた時や夏の暑い時期に、利用している人たちは困っていました。そこで、五十坪(百七十平方メートル)のログハウスが三月末に完成しました。この施設は、この広場にマッチするように十二角形の建屋が設計され、中央の柱は

高さ七メートル、幅九十センチの杉が使われています。中には木レンガが敷きつめられ、入りやすいように三箇所入口が設けられています。
この広場が、利用する人にとって使いやすいようになるように、炊飯施設・バーベキュー場を整備したり、キャンプをした時にキャンプファイヤーが楽しめる場所なども計画されていますので、お楽しみに。



公園案内図



これで雨が降ってもだいじょうぶ

文化振興・生涯学習推進に一役

平成元年度 静岡県立大学特別公開講座閉講

富士川町文化事業振興会（秀村敏朗会長）が、静岡県立大学公開講座実施委員会と共催で開講してきた「平成元年度静岡県立大学特別公開講座」の全日程が終了し、二月十四日（水）中央公民館で閉講式が行われました。

この講座は、町民の文化の振興や生涯学習の向上とともに

に、拠点となる中央公民館の活用を図ることなどを目的として、県立大学の全面的な協力のもとに、県内では初めてのこのころみとして開かれ、アジアの文化（金兩基先生）・古典からみた静岡県（須田悦生先生）・静岡県の人物史（高木桂蔵先生）の三講座で、それぞれ学習を進めてきました。

閉講式のあいさつの中で秀村敏朗会長は「先生方からご指導いただいた貴重な知識を今後地域や家庭の中で活用し、町づくりに生かして欲しい。来年度も本年度の内容を検討し更に充実し開講していきたい」と、また常葉雅文町長は「今年大きな成果をおさめたと聞いています。町の文化振興、生涯学習推進の意味でも



▲講義中のアジア文化講座



▲秀村会長から受講生代表に修了証書が

来年度も続けて欲しい」と語っていました。その後、三講座受講生の代表者に、振興会長名・大学学長名の入った修了証書が手渡されました。

三講座で講師を務められた先生方は「受講生の皆さんは、学習意欲旺盛で、私たち自身も刺激を受け大変勉強になりました。

春休み めいぐるみ人形劇

「みにくいアヒルの子」

きょうだい達より大きな卵から生まれた「みにくいアヒルの子」は、生まれたその日からみんなの笑いものになったり、いじめられたりします。だれも友達になつてくれません。きょうだい達も彼を仲間はずれにします。

ました。次へのステップの一助としての役割を果たせたとホッとしています」と、話していました。振興会では、講座への出席状況やアンケート結果などを検討し、更に充実した講座開催に向け、県立大学当局と協議を進めていきます。

とき 三月二十五日(日)

じかん 午後一時開場

午後一時三十分開演
富士川町中央公民館
ホール

入場料 前売券一、〇〇〇円

当日券一、二〇〇円

(三歳から有料)

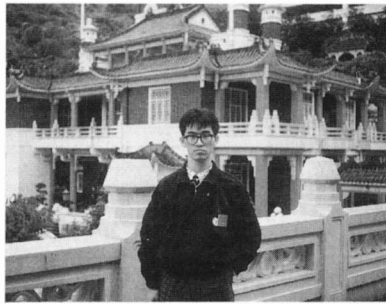
注 三歳以下でも一座席を
使用する場合は券が必要
要です。

問合せ 富士川町中央公民館
(八一―二三三三)

第22回 青年の船に乗って

太田晴彦(東町)

「青年の船に乗ろう」と思いついた理由は、二十歳になる前に国外から日本を見つめてみたかったこと、大学で「国際関係」を学んでいること、二点からでした。



参加者は、県内の社会人が中心でしたので、自分のいる世界の狭さや社会の厳しさなど大学では得られない素晴らしいことを学ぶとともに、郡内の人も知り合え、お互いの町の将来について語り合えたことは貴重な体験でした。青年の船では、船内研修の他に現地研修があり、私は香港コースに参加しました。人々は休みなく働き、商業都市の景観を見せる香港、買い物を楽しむ街の印象も得ることができました。現地青年との交流会では、

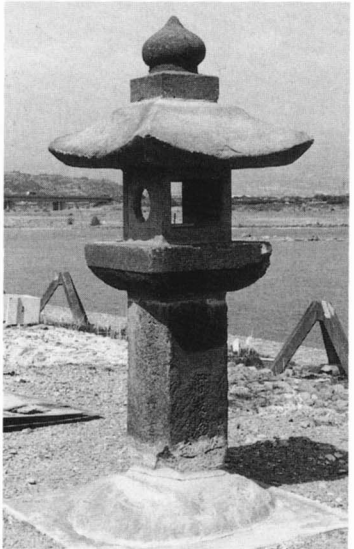
あまり上手とは言えない英語に苦労しつつもなんとか意思を通じ合うことができました。七年後に中国帰属を迎える香港。参加者の女性は、天安門事件以降、将来への不安から街を離れる人の多い香港に留まる決意を語ってくれました。私は、民主的社会的の実現に向け強い意志と情熱を持つ女性の姿に心をうたれました。大学で頑張っている私ですが、溢れる情熱をうまく生かせず、時にはトラブルも……。情熱は若者の象徴」と励ましてくれた研修生、香港の人の不屈の精神、研修で体得した成果を支えとし、新たな一歩を踏み出そうと思います。

富士川渡船上り場の

常夜燈 町指定文化財に

町文化財保護審議会(平田広胤会長)は、昨年十二月二十二日「富士川渡船上り場の常夜燈」を町の文化財に指定するよう答申しました。これを受けて二月一日の教育委員会で正式に決定されました。これで、町指定文化財は二十二件となります。

今回指定された常夜燈は、その刻字から文政十三年(一八三〇)正月に建立されたもので、岩淵在住の望月氏他四名が世話人となり、富士川渡船及び甲州水運の安全のため甲州三河岸(鰍沢・黒沢・青柳の三河岸)富士川渡船・岩淵河岸商人が賛助したもので



この前を旅人が行き来していた

す。これによって、従来から伝承された「渡船上り場」の位置が確認されるとともに、常夜燈が再建されたものであるところから、常夜燈の建立も古くからあり「上り場」は渡船開始以来の場所であったことが推定されます。なお、富士川渡船が始まったのは慶長七年(一六〇二)甲州水運は同十九年(一六一四)です。また、この常夜燈が再建された二年前の文政十一年六月、富士川は大洪水で常水より三十尺(約九尺)増水したという記録があり、その際、前の常夜燈は流失したと想像されます。



3月～4月の予定

- 【3月】
 - 16日(金) 幼稚園卒園式(一幼・二幼)
 - 17日(土) もちつき大会(富士川地区子供会)
 - 18日(日) 町婦人バレーボール大会(社会体育館)
 - 19日(月) 小学校卒業式(一小・二小)
 - 20日(火) 中学校卒業式(一中・二中)
 - 21日(水) 春休み映画大会(松野児童館)
 - 22日(木) 春休み映画大会(宇多利児童館)
 - 24日(土) 宇多利児童館・松野児童館合同卓球大会(松野児童館)
 - 25日(日) 子供人形劇場「みにくいアヒルの子」親子絵画クラブ反省会(松野児童館)
 - 26日(月) 保育園卒園式
 - 【4月】
 - 4日(水) 入園式(岩淵保育園・松千代保育園北松野保育園)
 - 5日(木) 入学式(一小・二小・一中・二中)
 - 8日(日) 町長杯争奪ソフトボール大会(富士川河川敷)
 - 10日(火) 入園式(一幼・二幼・さくら台幼)
 - 15日(日) 町民ハイキング
- 3月25日(日)～3月31日(土)
図書室休室(年度末蔵書点検のため)
4月1日(日)から開室しますので、どうぞご利用下さい。(毎週月曜日・第3日曜日・祝日は休室)

役場庁舎増築改修工事

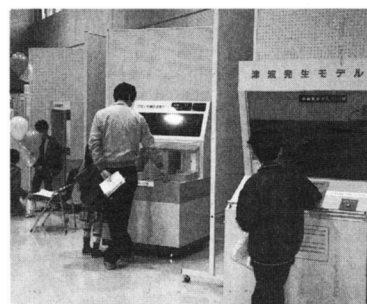
議会棟の起工式 来年1月にオープン



鎌入れの儀を行う常葉町長

二月二十四日(土)、役場庁舎裏の建設用地で、常葉雅文町長、町議会、工事関係者など約五十人が集まり、鎌入れや鉄入れの儀式の後、玉串奉奠をして、工事の安全を祈願しました。
増築される議会棟は、総延床面積が九百四十一平方メートルで、鉄筋一部三階建ての施設です。一階を事務室スペース、二階には固定席の議場や委員会室などが造られる予定で、来年の一月には新しい議会棟が完成する計画です。

地震防災展



地震や津波はどうして起こるの？

中部振興センターと庵原3町の主催で、2月24日・25日の両日、富士川町中央公民館で地震防災展が開かれました。

地震車や煙体験ハウスで、実際に揺れや煙を体験した人たちは「大きな地震でこんなに家が揺れたり、煙が充満するとたいへん怖い」と話していました。また、多目的室には、写真や模型で地震や災害がわかりやすく説明され、訪れた人は消火器を手にしたり、防災クイズに答えたりして、地震に対する知識を再確認していました。

いざという時のために



田辺チビ鶴こと山村健一くん(11歳)も、講談の前に訪れた人といっしょに体験をしました。

震度7の激震に、思わずテーブルにしがみつきます。

まちのふしおひつと

ファミコンより楽しい 手うちそばづくり



おばあちゃんに、ほめられたよ

宇多利・松野児童館で 三世代が交流

二月十一日、松野児童館と宇多利児童館で、三世代が交流するイベントとして『手うちそばづくり』が行われました。
松野児童館には、母親クラブのお母さん、八坂・八幡町老人クラブのおばあさんたちや三歳から小学校六年生の子どもたち九十人が集まり、そばづくりの作業が始まりました。初めての体験で、まごついていたり子どもたちも、おばあさんたちの指導で、そば粉をこねたり、めん棒でのばしたりすると「家でファミコンで遊んでいるより、自分でおそばをつくるのができて、楽しい」と話しました。子どもたちの上達におばあさんたちも喜び、「上手だから、家のおそばも作ってもらおう」などの会話がはずみました。

富士川俳句会(文協俳句会)

梅咲くや積らぬ雪が今日も降り	宮町	増井 冬木
入海の行く先見えて春めけり	塚町	植松 倫夫
しずり雪月にかがやく五葉松	中野台	毛保 君子
春一番天城の山の木々を裂き	川坂	伊藤きよ江
霜柱横目でにらむ露の臺	川坂	蓑 タツ子
初詣病む手にそつと煙かけ	小池	佐野百合子
春一番鏡も曇る外気温	東町	長谷川三恵子
霜を踏む夫婦の足音揃ひけり	南町一	佐野 利貞
夜半すぎ猫とまどろむ炬燵かな	八幡町	錦織 悦子
寒き朝化粧水掌にぬくめをり	八幡町	松尾 保子
臥す伯母に昔話と梅一枝	新町	小笠原和代
玉子酒風邪を追いだす一気飲み	塚町	大石 清子
雑時きの畑にそれぞれ春菜の芽	塚町	望月 洋子
翔つ鳥の糞みて笑う小春かな	新町	土谷 光代
無くてなお仰げばありし初御空	富士松野	市川美代子
ゴルフ場にプレーしたいと春の鳥	富士松野	宮田富美子
風邪の児を預りまごまごばかりかな	新町	倉内美枝子
紅縮裏に母の四温の針目かな	南町一	影島 智子

人身事故—6件(5) 合計13件(14)
物損事故—7件(9)

2月の交通事故

富士川身延線—4件(3)
国道一号線—4件(3)
町道—0件(6)
県道—3件(2)
その他—2件(0)

()は昨年

戸籍の窓

おめでたかなしみ

平成2年1・15

2・14届出分

(敬称略)

区名	氏名	保護者	続柄
木島	仲摩佳亮	佳一	長男
相生町	鈴木美咲	秀樹	二女
舟山町	渡邊恭平	浩志	長男
堺町	望月志保	俊州	二女
宮町	浦田聡美	盛之	長女
南町二	小林祐貴	辰明	長男
八幡町	望月彩	敏陽	二女
章榊	福永意人	博	二男
章榊	山本茜	吉晴	長女
中野台	渡邊瞬也	正晴	二男

区名 氏名 年齢

舟山町	瀧	たけ	九二
宮町	山本	達士	五四
小池	杉澤	あさ	七六
小池	宮原	留夫	七三
幸町	宇佐美	ませ	八二
東町一	鈴木	英雄	七八
東町二	前田	フミ子	五六
南町一	田邊	恒夫	七八
南町二	清水	つま	八二
八幡町	宇佐美	要	八六
清水町	清	兼次郎	一〇〇
大北町	松下	弥佐久	七一

人間：何も威張ることも、見栄を張ることもない。自然

体が一番。楽しくなることをモットーに社会教育に携って

三年。一番の収穫は、和紙・凧づくり、野草観察等々：で人と出会い、多くの学習の機

会を得、様々な体験が積めたことです。

春先、「キブシ」の花房を楽しみ歩いた山里で、椿の栽培を教えてくれたおばあさん

の姿が思い出されます。

無駄を無駄と思わず、自ら求めることで生涯学習の糸口

が掴めるように思います。

一里塚



「心ここにあらざれば見れども見えず、聞けども聞こえず、食えどもその味わいを知らず」の言葉を大切に。

(派遣社教主事・水谷戈哉)

善意銀行へ

ぞうきん 六十枚

遠藤 福次 (本通一)

町への寄付金

(敬称略)

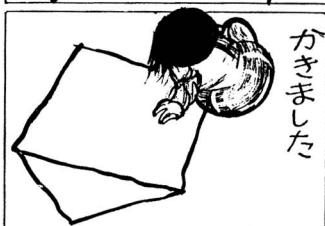
五万円	松下 武 (大北町)
五万円	清 市郎 (清水町)
三万円	伊藤しず (新町本町)
五万円	宇佐美幹雄 (八幡町)

2月号「戸籍の窓」欄で、小泉治雄さんの年齢六十八歳を五十四歳と掲載しました。深くおわびし訂正させていただきます。

星の子



子供が家を



かきました



中に人をかいたら

子供はすまじい



家でついでに ゆうかいされたの

お母さんの「知恵袋」

和装小物の手入れ

小物類(半衿・帯あげ・帯じめなど)は、装いをひきたたせるために、なくてはならないものです。

着物と帯、帯あげ、帯じめの調和は、たいへん難しく、着る人のセンスがもっとも問われるところです。帯じめは結んだり、ほどいたりして、手にふれることが多いため、意外と汚れているのです。そこで、小さめの洗面器に帯じめがひたひたになる位にベンジンを注ぎ、上からラップをします。10分ほどたったらラップを外し、ゴム手袋をはめて軽く押し洗いしてください。帯じめの房の乱れは、やかんの口から吹き出ている蒸気にあて、編み棒でとかし、房の部分のを和紙でくるみ、糸で結んでおくと、きれいな状態で使えます。(婦人会 川口)